

## 合併に向けた市町村の動向

【平成 20 年 6 月 30 日現在（人口は H17 国勢調査による）】

（下線：最近（H20.6以降）の動き）

### < 1 首長及び議会で合併の方向で合意している市町村 >

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
波 田 町 (14,914)	<p>H16.6.27 条例による住民投票の結果（反対 53.7%、賛成 46.3%）を受け、松本西部任意合併協議会を脱退。</p> <p>H17.7.10 波田町長選で合併推進派の太田典男氏が 56:44 で初当選。</p> <p>H18.10.2 町長が合併の必要を訴える全戸訪問を始める。</p> <p>H18.12.18 住民意向調査（アンケート）を実施。合併「賛成」48.7%、「どちらかといえば賛成」14.5%、「反対」17.6%、「どちらかといえば反対」8.2%となり、賛成多数となった。</p> <p>H18.12.22 議会が全員協議会で松本市との合併に同意することを決める。議会の報告を受けて町長は、正式に松本市に合併協議の申し入れをすることを表明。</p> <p>H19.1.16 臨時議会あいさつで、町長が 25 日に松本市長に対し正式に合併協議を申し込む方針を明らかにした。また、議員提案による合併に関する特別委員会の設置議案を可決。</p> <p>H19.1.25 町長と議長らで松本市に正式に合併協議を申し入れる。松本市側は「これまでの経過からも慎重に慎重を期したい。」とした。</p> <p>H19.1.29 町長は町議会の合併特別委員会で、合併協議の申し入れを「断られたとは思っていない」と考えを示し、「正しく町を理解してもらうため」の情報発信を検討するとした。</p> <p>H19.3.2 太田町長は 3 月議会の開会あいさつで「松本市民に好ましい合併相手として迎えられよう、行財政運営の襟を正す」と述べた。また、19 年度予算案で町 HP に松本市民に波田町の PR する部分を加えるための更新費 50 万円を盛り込んだ。</p> <p>H19.5.7 町議会は松本市との合併に向けて体制を強化するため、合併特別委員会を改選前に引き続き、議会内に設置した。</p> <p>H19.6.29 「松本市との合併を目指すコーナー」を 29 日から町公式サイトに開設。松本市等に向けて情報を発信した。</p> <p>H19.10.26 町公式サイト（合併コーナー）の要約版冊子を作成し、町内全戸に配布。（町民と市民との交流の際に活用されることがねらい）</p> <p>H20.2.29 太田町長は 29 日の定例記者会見で 20 年度当初予算案に市町村合併推進費に「合併協議会負担金」として 1,000 千円計上したことを発表した。</p> <p>H20.3.3 3 日開会した 3 月定例会で太田町長は、「今後、自治体間の具体的なやりとりが始まると思う」、「来年度はいよいよ松本市の判断が下される。松本平の盟主として大所高所からの物になると信じている」と期待を表した。</p> <p>H20.3.13 3 月定例会一般質問で、合併問題に関して百瀬議員が「市民の共感が得られる資料作成」の必要性を説いたことに関して、太田町長は「合併は相手のあることなので、松本市の状況を見ながら検討したい」と述べた。</p> <p>H20.3.26 菅谷松本市長とトップ会談を行い、合併に対する町民の願いが強まっていることを伝え、また、町の財政状況や波田総合病院の経営状況を掲載した冊子を松本市役所に置くことを提案し、了承を得た。</p> <p>H20.4.25 太田町長は、定例記者会見で、「財政のためだけに合併するのではない。広域的な観点から、波田の地域づくりをしていくことが有効だ」と述べた。</p> <p>H20.5.28 松本市の担当者が波田町役場を訪れ、波田町との合併について、基本姿勢及び今後の進め方を説明し、また、同町に関する最新情報等の提供を受けるため事務レベルでの調整の場を設けたい旨を提案し、太田町長から全面的に協力する旨の回答を受け、同町の担当部署との事務レベルでの調整を始めた。</p> <p>H20.5.29 町議会合併特別委員会で、松本市の要請に対し、積極的に対応する町の方針を了承した。</p>	松本市

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
	<p>H20. 6. 20 松本市の担当職員が波田町を訪れ、小中学校など町施設を視察した。各施設の状況を把握し、情報提供に生かす予定。</p>	
清内路村 (777)	<p>H18. 2. 16 臨時村議会で「合併問題特別委員会」の設置を議員提案し、可決。</p> <p>H18. 9. 26 村議会合併問題特別委員会が9月定例会に最終報告書を提出。周辺市町村との合併について「行政改革の一つの手段として選択を考えると」とし、その相手は「阿智村をおいて他にない。」と明記。</p> <p>H18. 9. 28 9月議会で「阿智村との合併を求める道を選択することが、地域の自律性を高める」との決議を賛成6:1で可決。</p> <p>H18. 10. 6 阿智村教育委員会は清内路中学校と平谷中学校の阿智中学校への統合を前向きに検討していくことを確認。</p> <p>H18. 10. 24 合併問題研究に関する中間報告をまとめる。</p> <p>H18. 10. 30・31 合併問題に関する住民説明会を村内で開催。</p> <p>H18. 12. 21 阿智村教育委員会が清内路・平谷両中学校の阿智中学校への統合について、受け入れ項目の了承を前提に受け入れることを通知。</p> <p>H19. 3. 11 合併学習会を開催し、村内外から約160人が参加。</p> <p>H19. 5. 25 村内の住民グループが岡庭阿智村長らを招き「清内路の明日を語る会」を開催。阿智村長は、合併について「もう少し考えさせてほしい」とした。</p> <p>H19. 6. 5 公募住民や村議らでつくる「村合併問題研究会」が、「阿智村と合併について話し合う場を設けるべき」とする報告書をまとめ、村長に提出。桜井村長は「報告を重く受け止め、より良い結論が出せるようにしたい」とした。</p> <p>H19. 6. 13 合併問題研究会は桜井村長に5日に提出した最終報告書の住民説明会を開催(13.14日に3回)</p> <p>H19. 6. 18 桜井村長は「議員の意見を聞かせていただき阿智村との合併について話し合う場の創設を申し入れていきたい」と村議会6月定例会の冒頭挨拶で意向を示した。時期については「議会での意見を聞いてから判断したい」とした。</p> <p>H19. 6. 22 阿智村に対し合併の協議をする場の設置を25日に申し入れる意向を明らかにし、また村議会も議員提案で「阿智村との合併協議の場創設に関する決議」を全会一致で可決した。</p> <p>H19. 6. 25 阿智村に対し合併協議の場創設の申し入れをする。岡庭阿智村長は「話し合いには応じるが、合併の是非よりも、今後の山村のあり方や、住民の幸せを話し合う場にしたいと述べる。</p> <p>H19. 8. 28 阿智・清内路両村議会の全議員による合併の話し合いの場としての懇談会が開かれ、清内路村会の原議長は「古くから交流のある両村がより親しみのある地域になるよう、清内路の気持ちを受け止めてほしい」と述べ、これに対し阿智村会の小笠原議長は阿智村への申し入れについて「議会側にも温度差がある。住民の声をじっくり聞いて対応したい」と述べた。</p> <p>H19. 9. 25 校舎建設の工期延長に伴い開校時期をH22.4から23.4に延期するよう協議申入れがあったことについて、阿智村教育委員会は、清内路中学校の生徒の受入は、H22.4とする方針を決定。浪合、平谷はH23.4とすることとした。</p> <p>H19. 9. 26 清内路村議会9月定例会のあいさつで、桜井村長は、「阿智村となら『合併による地域の自立』が実現できると確信しており、清内路は誠心誠意努力する。」とあらためて合併に対する意欲を表明。</p> <p>H19. 10. 23 阿智村より、合併協議の申し入れに対する回答として、「合併をひとつの選択肢とした両村のあり方を幅広く研究する協議の場」設置の提案あり。</p> <p>H19. 11. 15 阿智村との将来像を考える「あり方研究会」の初会合が開かれ、会長に選出された小笠原阿智村議会議長は「合併するしないの方向付けを急ぐ必要性では認識が一致した。合併するとなったら、来年3月中には正式な協議会を発足したい」と述べた。</p>	阿智村

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
清内路村 (777)	<p>H19. 12. 6 「あり方研究会」の第2回会合が開かれ、財政シミュレーションの条件設定についての議論や両村の住民サービスの比較などを行った。終了後に小笠原会長は「会としては、合併の方向に進んできているように思う」と述べた。</p> <p>H19. 12. 21 「あり方研究会」の第3回会合が開かれ、両村の議員が「合併の成否」について踏み込んだ意見交換を行った。</p> <p>H20. 1. 10 清内路村議会は全員協議会で、「あり方研究会」に関する住民報告会を1月下旬から村内2会場で開くことを決めた。</p> <p>H20. 1. 28・29 清内路村議会は、合併問題報告会を開催。これまでの経過や財政状況等の資料で報告。改めて合併が必要との意見が多数出された。</p> <p>H20. 2. 4 阿智村議会が4日、阿智村内で行われた「意見を聞く会」での住民意見を踏まえ任意合併協議会設置の是非について、全員協議会を開き、賛成多数で設置を決めたのを受け、桜井村長は「一步前進と受け止めて感謝したい」と話した。</p> <p>H20. 2. 7 「あり方研究会」の第4回会合が開かれ、任意協の設置を確認した後、両村長が任意協設置の合意書に調印した。</p> <p>H20. 2. 13 阿智村との初の任意合併協議会が阿智村役場で開かれ、清内路村を阿智村に編入する合併形式を確認したほか、5月に法定協設立、9月に両村議会での議決、任協の付属機関として、両村公募20名で構成する「新しい村づくり会議」を設置し、新村の将来構想案を作成することを了承した。</p> <p>H20. 3. 3 阿智村と清内路村の2回目の任意合併協議会が阿智村役場で開かれ、合併期日を2009年3月31日とすることなどを決めた。</p> <p>H20. 3. 7 阿智村と清内路村の両村長、議長が合併支援に関する県の支援を要請するため、村井知事を訪問。</p> <p>H20. 3. 7 阿智村と清内路村の両公民館は両村の合併問題についての意見交換会を開いた。</p> <p>H20. 3. 11 村議会の一般質問で住民の意向集約の方法についての質問に対し、桜井村長は「慎重に判断したい」「刻々と変わる状況を見極めて判断したい」と述べた。</p> <p>H20. 3. 13 3回目の任意合併協議会が清内路村老人福祉センターで開かれ、事務事業の一元化について協議した。</p> <p>H20. 3. 15 合併後の新阿智村の新村構想について話し合う、「新しい村づくり会議」の初会合が開かれた。</p> <p>H20. 3. 21 両村議会の合同全協が開催され、清内路村議会は住民投票を実施する意向を表明したほか、合併後の議員定数と清内路支所の職員体制の取扱いについて協議し、合意した。</p> <p>H20. 3. 24 村議会で阿智村との合併の是非を問う住民投票条例案を村長が提案し、採決の結果、全会一致で可決した。任意協の合意内容についての住民説明会を開催後、投票が実施される見込み。</p> <p>H20. 3. 27 4回目(最後)の任意合併協議会が開催され、事務事業の一元化について合意し、任意合併協議会としての協議が終了した。また、清内路村が阿智村との合併賛否を問う住民投票を4月23日告示、5月4日投開票を実施することを明らかにした。</p> <p>H20. 4. 8 村井知事が阿智村、清内路村を訪れ、合併を支援する姿勢を改めて強調した。</p> <p>H20. 4. 14 5月4日の住民投票に向けた住民説明会(4/9～14)の最終回を開いた。出席者の合計が住民投票有権者の4割に達したことを受け、桜井村長は、「予想以上の多くの参加があり、熱心に聴いていただいた。さらにケアしていきたい」と述べた。</p> <p>H20. 4. 23 阿智村との合併賛否を問う住民投票が告示された。投票日は5月4日。投票は賛成、反対の二者択一。有権者数は595人(4/21現在)。</p>	阿智村

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
	<p>H20. 4. 23 「村の合併を考える意見交換会」（村公民館主催）が開かれ、村民約100人が出席。合併賛成の意見が中心を占め、今後の地域づくりについての一層の努力が必要との意見が出された。</p> <p>H20. 5. 4 合併の賛否を問う住民投票の結果、賛成 483 票、反対 61 票となった。投票率は 92. 61%。賛成は有効投票の 88. 8%。会見した桜井清内路村長は、「予想以上に賛成の意思を示してもらえた。阿智の皆さんにぜひ村民の熱意をくみとっていただきたい」と述べた。</p> <p>H20. 5. 5 村長と議長が阿智村役場を訪問し、住民投票の結果を報告。岡庭阿智村長は、「これだけの皆さんが阿智村との合併を求めているのであれば、隣村として受け止めるのは当然のこと」と述べた。</p> <p>H20. 5. 14 新村構想を話し合う「新しい村づくり会議」の第2回目が阿智村役場で開かれ、公共施設の活用方法や自治会活動、清内路村の観光資源等について意見交換が行われた。</p> <p>H20. 5. 20 板倉副知事が阿智村、清内路村を訪れ、県として合併を支援することを改めて表明した。</p> <p>H20. 5. 27 阿智村の住民アンケートの開票結果を受け、村長は「賛成が反対を大きく上回っており、阿智村議会で合併推進の判断がいただけると期待している」と述べた。</p> <p>H20. 5. 29 阿智村議会の全員協議会が全会一致で法定合併協議会の設置を確認したことを受け、清内路村議会でも6月定例会で法定協議会の設置を議決する方向とした。</p> <p>H20. 6. 10 清内路村議会の定例会が開かれ、法定合併協議会の設置について全会一致で可決した。</p> <p>H20. 6. 11 新しい村づくり会議が阿智村役場で開かれ、新村の「新しい村づくり計画(合併市町村基本計画)や人口増加対策等について意見交換が行われた。</p> <p>H20. 6. 16 阿智村と清内路村は、法定合併協議会を設置した。1回目の協議会を開催、合併期日などの基本方針を確認した。</p> <p>H20. 6. 23 阿智村と清内路村の両村長、両議長が県庁を訪れ、県が策定する合併構想の対象市町村に位置付けるよう村井知事に申し入れた。</p> <p>H20. 6. 26 第4回新しい村づくり会議が阿智村役場で開かれ、新村の将来像を中心に議論した。</p>	
信州新町 (5, 535)	<p>H16. 10. 31 「住民投票」で小川村、中条村との合併「賛成」51. 9%が出たが、小川村の「反対」多数、中条村の「長野市との合併」多数の結果により、3町村の合併は見送り。H17中に、行財政改革検討委員会で行政サービスの検証や今後の方向性を検討。</p> <p>H17. 9. 27 町議会で「町の合併を進める会」が提出した長野市への合併を進める陳情を12:2で採択し、また「町の自立をもとめる町民有志」が提出した町の自立を求める陳情は不採択。</p> <p>H18. 4. 23 信州新町長選で合併推進派の中村靖氏が62:38で4選を果たす。</p> <p>H19. 9. 13 9月定例会の一般質問で長野市との合併を探る民意の確認方法について、中村町長は「住民投票がすべてではない。長野市と協議して考えたい。」「一日も早く議会と一緒にあって合併に取り組みたい」と述べた。</p> <p>H19. 10. 28 合併に関する住民説明会の初回目を開催。今後、H20. 1月14日までに、町内19ヶ所で開催。</p> <p>H20. 1. 13 住民の有志で作る「信州新町の明日を考える会」が「長野市との合併を考えるシンポジウム」を開き、合併に対する意見交換を行った。</p> <p>H20. 1. 16 町は、議会全員協議会で、長野市との合併の賛否を問う住民アンケートを18歳以上の住民を対象に行い、1月29日に集計することを説明。</p>	長野市 中条村

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
	<p>H20. 1. 29 長野市との合併の是非を問う住民アンケートで、賛成が70.3%と反対を大きく上回った。結果について中村町長は「住民の意向に沿うように合併を進めていく」と話し、2月中にも合併協議の申し入れをしたいとした。</p> <p>H20. 2. 20 中村町長は中条村の久保田村長と長野市長に合併協議を申し入れた。これに対し驚沢長野市長は「議会と十分協議し、市民理解が得られるよう、慎重に進めたい」と述べた。</p> <p>H20. 3. 26 長野市・信州新町・中条村合同研究会の初会合が開かれ、会長の酒井長野市副市長は「この合同研究会において、合併に関する基本的事項の調査・研究を行い、合併を進めるかの判断材料を作成する」と述べた。</p> <p>H20. 5. 22 長野市・信州新町・中条村第二回合同研究会が長野市役所で開かれた。防災、消防関係事業などの現状及び調整案を確認した。</p> <p>H20. 5. 30 長野市・信州新町・中条村第三回合同研究会が長野市役所で開かれた。介護保険、消防団、高齢者福祉関係事業などの現状及び調整案を確認した。</p> <p>H20. 6. 9 長野市・信州新町・中条村第四回合同研究会が長野市役所で開かれた。保健衛生事業などの現状及び調整案を確認した。</p> <p>H20. 6. 30 長野市・信州新町・中条村第五回合同研究会が信州新町役場で開かれた。環境衛生、学校教育、商工観光事業などの現状及び調整案を確認した。</p>	
中 条 村 (2,525)	<p>H16. 10. 31 「住民投票」で「長野市との合併」が48.6%、「信州新町、小川村と合併」が47.6%、「自立」が3.2%、0.6%は無効の結果が出た。</p> <p>H16. 11. 1 村長は、住民投票結果を尊重し、長野市との合併に進むことを表明。議会全員協議会で投票結果を尊重することを全会一致で決める。これを受けて長野市との協議を模索しているが、現在のところ合併協議開始に至っていない。</p> <p>H17. 3. 10 村議会が長野市との合併を推進する決議案を全会一致で可決。</p> <p>H17. 9. 8 9月議会定例会一般質問で、議員全員が長野市との合併に向け、村が積極的に取り組むよう要請。</p> <p>H17. 12. 8 12月定例会の冒頭で「信州新町とともに長野市のご理解を頂き、できるだけ早く合併に向けての具体的な取組みができるように努力する」ことを表明。</p> <p>H19. 5. 7 初当選した久保田元夫村長は「長野市との合併を進めたい。」と臨時議会であいさつした。</p> <p>H19. 6. 13 6月定例会の合併に対する質問の答弁で、長野市との合併について「年度内に協議に入る体制を整えたい」と述べ、その前提の住民合意の形成を進める考えを示し、合併を視野に入れた「村づくり」を検討する委員会を設置するとした。</p> <p>H19. 8. 24 合併を見据えた地域づくりに取り組むための「むらづくり委員会の設置」。12月末をめどに村に中間答申をする予定。</p> <p>H19. 12. 5 合併についてのむらづくり懇談会の初回目を開き、久保田村長は住民の意思確認はアンケート方式で行う考えを示した。むらづくり懇談会は村内全23区で予定。</p> <p>H20. 1. 11 村は、議会全員協議会で、長野市との合併の賛否を問う住民アンケートを18歳以上の住民を対象に行い、1月29日に集計することを説明。「結果を受けて議会と協議し、長野市に対し合併協議を申し込むか決める」とした。</p> <p>H20. 1. 29 長野市との合併を進めるにあたり住民アンケートを実施、賛成が93.1%と反対を大きく上回った。結果について久保田村長は「なるべく早い時期に合併できるようにしたい」と話し、2月中にも合併協議の申し入れをしたいとした。</p> <p>H20. 2. 20 久保田村長は信州新町の中村町長と長野市長に合併協議を申し入れた。これ</p>	長野市 信州新町

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
	<p>に対し鷺沢長野市長は「議会と十分協議し、市民理解が得られるよう、慎重に進めたい」と述べた。</p> <p>H20. 3. 26 長野市・信州新町・中条村合同研究会の初会合が開かれ、会長の酒井長野市副市長は「この合同研究会において、合併に関する基本的事項の調査・研究を行い、合併を進めるかの判断材料を作成する」と述べた。</p> <p>H20. 5. 22 長野市・信州新町・中条村第二回合同研究会が長野市役所で開かれた。防災、消防関係事業などの現状及び調整案を確認した。</p> <p>H20. 5. 30 長野市・信州新町・中条村第三回合同研究会が長野市役所で開かれた。介護保険、消防団、高齢者福祉関係事業などの現状及び調整案を確認した。</p> <p>H20. 6. 9 長野市・信州新町・中条村第四回合同研究会が長野市役所で開かれた。保健衛生事業などの現状及び調整案を確認した。</p> <p>H20. 6. 30 長野市・信州新町・中条村第五回合同研究会が信州新町役場で開かれた。環境衛生、学校教育、商工観光事業などの現状及び調整案を確認した。</p>	

< 2 関係市町村の動き >

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
長野市 (378, 512)	<p>H19. 6. 7 鷺沢長野市長は、議会 6 月定例会の提案説明の中で、信州新町と中条村が長野市との合併を模索していることに触れ「合併新法の期限内に結論を出すなら、本年度中にも協議を始める必要がある」と述べ、「合併推進に前向きな姿勢で臨むことが、長野広域圏の中核的都市である本市の責務」とし住民総意のもとでの申し入れがあれば協議を進める方針を示す。</p> <p>H19. 6. 21 6 月定例会の総務委員長報告で「財政指数の悪い自治体との合併は市の財政負担が一層増す恐れがあり、市民の合意を得るのは容易ではない」として慎重な検討を求める意見が出た。これに対し鷺沢市長は「持続すら危ぶまれる自治体が存在することは事実。(地方分権という)将来の国と地方の形を見据えたとき、市町村合併の更なる推進が必要になるのではないかと述べた。</p> <p>H19. 12. 7 1 2 月定例会代表質問で、鷺沢長野市長は今後の取り組みについて問われ、「住民総意のもとでの申し入れが前提であるが、今年度中には、少なくとも事務レベルでの研究会を立ち上げるなど、関係市町村との協議を始める必要があるのではないかと答えた。</p> <p>H20. 1. 29 信州新町と中条村が行った長野市との合併を問う住民アンケートの結果で賛成が大きく上回ったのを受け、鷺沢市長は「高い数字に驚いている。基本的に住民総意をもって合併協議の申し入れがあれば真摯に対応したい。」と述べた。</p> <p>H20. 2. 20 信州新町と中条村の合併協議の申し入れに対し鷺沢長野市長は「議会と十分協議し、市民理解が得られるよう、慎重に進めたい」と述べた。</p> <p>H20. 2. 29 信州新町と中条村の合併協議の申し入を受けて「長野市・信州新町・中条村合同研究会」の設置を市議会全協に提出し、了承された。3 月中の設立を目指す。</p> <p>H20. 3. 26 長野市・信州新町・中条村合同研究会の初会合が開かれ、会長の酒井長野市副市長は「この合同研究会において、合併に関する基本的事項の調査・研究を行い、合併を進めるかの判断材料を作成する」と述べた。</p> <p>H20. 5. 22 長野市・信州新町・中条村第二回合同研究会が長野市役所で開かれた。防災、消防関係事業などの現状及び調整案を確認した。</p> <p>H20. 5. 30 長野市・信州新町・中条村第三回合同研究会が長野市役所で開かれた。介護保険、消防団、高齢者福祉関係事業などの現状及び調整案を確認した。</p> <p>H20. 6. 9 長野市・信州新町・中条村第四回合同研究会が長野市役所で開かれた。保健</p>	信州新町 中条村

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
	<p><u>衛生事業などの現状及び調整案を確認した。</u></p> <p>H20. 6. 10 <u>長野市の鷲沢市長は定例会見で、信州新町、中条村と法定協議会を設置するための議案を、早ければ市議会 9 月定例会に提出する考えを明らかにした。</u></p> <p>H20. 6. 30 <u>長野市・信州新町・中条村第五回合同研究会が信州新町役場で開かれた。環境衛生、学校教育、商工観光事業などの現状及び調整案を確認した。</u></p>	
<p>松本市 (227, 627)</p>	<p>H19. 1. 25 波田町が正式に合併協議を申し入れる。松本市側は「協議の場を設けるには、議会への相談や市民意向の把握が必要であり、まずは、市民へ様々な情報を提供しながら、慎重に、かつ、時間を十分にかけて取り組む」とし、平成 19 年度中に合併協議の場を設けることは困難とした。</p> <p>H19. 3. 5 2 月一般質問の答弁で「市民意向の確認が重要であり、まずは、松本市民に正確で分かりやすい情報を提供するため、波田町に関するさまざまな情報を収集、整理するよう担当部署に指示してある」と答えた。</p> <p>H19. 9. 10 松本市議会一般質問で、市民への情報提供をいつ行うのかとの質問に対し菅谷市長は「本年度中の取組みは、関連する情報の収集と整理、市民へのわかりやすい情報提供の方法検討を課題としており、情報提供の具体的手法の整理がついた段階で市民に提供することとなる」と答えた。</p> <p>H20. 2. 17 松本市長選で再選を目指している菅谷氏が記者会見で、波田町から申し入れを受けている合併問題については「住民の意向を把握した上で、なるべく早く合併するか否かの結論を出したい」と述べた。</p> <p>H20. 3. 16 松本市長選で現職の菅谷昭氏が再選。合併問題については、市民に波田町の情報を伝え、意向を確認するための方策を早急に検討する方針を示した。</p> <p>H20. 3. 26 太田波田町長とトップ会談を行い、町の財政状況や波田総合病院の経営状況を掲載した冊子を松本市役所に置くことについて提案を受け、今後、事務レベルで調整のうえで対応することを伝えた。</p> <p>H20. 4. 22 松本市の 2 市民団体が連名で、市民への情報提供などを求める要望書を菅谷市長あてに提出した。</p> <p>H20. 4. 30 松本市は、波田町が作成した合併に関する冊子を市役所や支所など 4 4 施設で配布し始めた。</p> <p>H20. 5. 20 松本市議会総務委員協議会で、市は、波田町との合併について、基本姿勢(①まずはじめに合併ありきではないこと、②波田町民の意思を尊重すること、③そのうえで市民意向を把握して、合併の是非を判断し、議会と相談のうえで決定する。)を示し、また、波田町の最新情報等について提供を受けるため事務レベルでの調整に着手し、7 月下旬にも市民への情報提供を始め、年内を目途に市民意向を把握するとした。</p> <p>H20. 5. 28 松本市の担当者が波田町役場を訪れ、波田町との合併について、基本姿勢及び今後の進め方を説明し、また、同町に関する最新情報等の提供を受けるため事務レベルでの調整の場を設けたい旨を提案し、太田町長から全面的に協力する旨の回答を受け、同町の担当部署との事務レベルでの調整を始めた。</p> <p>H20. 6. 11 <u>菅谷市長は、市議会 6 月定例会の一般質問で、「市長が合併の是非を判断する前に、議会と相談すべき」との質問に対し、「町民の意思を尊重し、市民の意向を把握して市長として判断し議会に相談する」と述べた。</u></p> <p>H20. 6. 20 <u>松本市の担当職員が波田町を訪れ、小中学校など町施設を視察した。各施設の状況を把握し、情報提供に生かす予定。</u></p>	<p>波田町</p>
	<p>H19. 6. 18 桜井清内路村長の「議員の意見を聞かせていただき阿智村との合併について話し合う場の創設を申し入れていきたい」との意向を受けて岡庭阿智村長は「申し入れがあったところで議会と相談して対応を決める」と述べた。</p> <p>H19. 6. 20 岡庭阿智村長は 20 日の村議会で「隣村として共存していくために、話し合っていくことはやぶさかでない」「どの選択肢が住民にとって良いのか、慎重に判断していく必要がある」と述べた。</p> <p>H19. 6. 25 清内路村より合併協議の申し入れに対し「話し合いには応じるが、合併の是非</p>	

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
阿智村 (6,771)	よりも、今後の山村のあり方や住民の幸せを話し合う場にしたい」と述べた。	
	H19.9.10 阿智村9月議会の村長あいさつで「(合併新法内の)平成22年3月までの合併を考えると今年度中の合併協議会発足が必要となるが、財政問題等の行政運営にとって本村への大きな負担は避けなくてはならず、様々な検討を行った上で申入れに応えたい」と述べた。	
	H19.9.18 阿智村9月議会一般質問で岡庭村長は、合併協議の場の創設について「議会が10月に考え方をまとめるのと歩調を合わせて方向性を示したい」と述べた。また「清内路村の住民の努力は重要視する」一方で、結論については「私の中でもまだ錯綜している」とした。	
	H19.9.28 阿智村9月議会で、清内路村、平谷村から中学校教育事務の委託を受ける規約案を可決。清内路村は平成22年度から、平谷村は平成23年度からの阿智中学校に統合する。	
	H19.10.23 清内路村よりの合併協議の申し入れに対し、「合併をひとつの選択肢とした両村のあり方を幅広く研究する協議の場」を設けることの提案を行う。	
	H19.11.15 清内路村との将来像を考える「あり方研究会」の初会合が開かれ、会長に選出された小笠原阿智村議会議長は「合併する、しないの方向付けを急ぐ必要性では認識が一致した。合併するとなれば、来年3月中には正式な協議会を発足させたい」と述べた。	
	H19.11.29 阿智村公民館は「清内路村との合併についての学習会」を初めて開き、70名ほどの住民が集まり、合併に対する意見や質問を出し合った。岡庭村長は「こうした住民同士の意見交換が大事」とし、今後も住民懇談会などを開催し、住民の考えを把握したいとした。	
	H19.12.6 「あり方研究会」の第2回会合が開かれ、財政シミュレーションの条件設定についての議論や両村の住民サービスの比較などを行った。終了後に小笠原会長は「会としては、合併の方向に進んできているように思う」と述べた。	
	H19.12.21 「あり方研究会」の第3回会合が開かれ、両村の議員が「合併の成否」について踏み込んだ意見交換を行った。	
	H20.1.10 阿智村議会は10日全員協議会で清内路村との合併について、住民意見の集約が必要とし、住民からの「意見を聴く会」を17日から7自治会ごとに開くことを決めた。これらの意見を踏まえ、「あり方研究会」に報告、協議を進める予定。	
	H20.1.17~30 阿智村議会は、「意見を聴く会」を7自治会ごとに開催。合併に対しては、様々な意見が出される。小笠原議長は「早期に任意の合併協議会を組織し、村民アンケートを実施することも考えられる」との見通しを示す。	清内路村
	H20.2.4 阿智村議会は4日、1月中に行われた「意見を聞く会」での住民意見を踏まえ任意合併協議会設置の是非について全員協議会を開き、賛成多数で設置を決めた。全協終了後、岡庭村長は「議会の結論に従って任意協を早い時期に設置したい」と話した。	
	H20.2.7 「あり方研究会」の第4回会合が開かれ、任意協の設置を確認した後、両村長が任意協設置の合意書に調印した。	
	H20.2.13 清内路村との初の任意合併協議会が阿智村役場で開かれ、清内路村を阿智村に編入する合併形式を確認したほか、5月に法定協設立、9月に両村議会での議決、任協の付属機関として、両村公募20名で構成する「新しい村づくり会議」を設置し、新村の将来構想案を作成することを了承した。	
	H20.3.3 阿智村と清内路村の2回目の任意合併協議会が阿智村役場で開かれ、合併期日を2009年3月31日とすることを決めた。	
H20.3.7 阿智村と清内路村の両村長、議長が合併支援に関する県の支援について、村井知事を訪問。		
H20.3.7 阿智村と清内路村の両公民館は両村の合併問題についての意見交換会を開		

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
	いた。	
	H20. 3. 11 岡庭村長は3月定例会の冒頭あいさつで「阿智で意向調査する前に、清内路の住民の結果を明らかにしてほしい」とあらためて清内路側の住民投票を求めた。	
	H20. 3. 15 合併後の新阿智村の新村構想について話し合う、「新しい村づくり会議」の初会合が開かれた。	
	H20. 3. 17 村議会の合併進捗状況の一般質問で岡庭村長は「編入を受け入れるということは、清内路の人々が安心して暮らしていけるよう責任を持つこと」「(来年3月の合併実現に向け)合併を進めていくことが私の責務」と述べた。	
	H20. 3. 27 4回目(最後)の任意合併協議会が開催され、事務事業の一元化について合意し、任意合併協議会としての協議が終了した。また、清内路村が阿智村との合併賛否を問う住民投票を4月23日告示、5月4日投開票を実施することを明らかにした。	
	H20. 4. 8 村井知事が阿智村、清内路村を訪れ、合併を支援する姿勢をあらためて強調した。	
	H20. 4. 11 岡庭阿智村村長が村CATVで、「清内路村との合併という形をとることがよいという結論に至った」と述べた。	
	H20. 4. 21 合併に関する住民説明会を5月1日までの日程(全52集落)で開始。その中で、岡庭阿智村長は「合併が阿智にとっても利益になる。財政も合併で阿智に悪い影響を及ぼすことはない」と説明した。	
	H20. 5. 5 清内路村長と清内路村議長が阿智村役場を訪問し、清内路での住民投票結果を報告。岡庭阿智村長は、「これだけの皆さんが阿智村との合併を求めているのであれば、隣村として受け止めるのは当然のこと」と述べた。	
	H20. 5. 7 村主催の自治会懇談会の初回(5月16日まで、全7箇所)を開催。村長は、清内路村の住民投票に触れ「ここまで来れば、この声を受け止め、協力して新しい村づくりを進めるのが最善の策ではないか」と述べた。	
	H20. 5. 14 新村構想を話し合う「新しい村づくり会議」の第2回目が阿智村役場で開かれ、公共施設の活用方法や自治会活動、清内路村の観光資源等について意見交換が行われた。	
	H20. 5. 27 阿智村で、合併に関する住民アンケート開票の結果、賛成2,043票(43.19%)、反対979票(20.70%)、阿智村議会に委ねる1,141票(24.12%)、わからない567票(11.99%) (※すべて有効投票数に対する割合)となった。アンケートの対象者は5,335人、有効投票数は4,730票。	
	H20. 5. 29 阿智村議会で全員協議会が開かれ、法定合併協議会の設置を全会一致で確認した。議会6月定例会で法定協議会の設置を議決する方向。	
	H20. 6. 10 阿智村議会の定例会が開かれ、法定合併協議会の設置について全会一致で可決した。	
	H20. 6. 11 新しい村づくり会議が阿智村役場で開かれ、新村の「新しい村づくり計画(合併市町村基本計画)や人口増加対策等について意見交換が行われた。	
	H20. 6. 16 阿智村と清内路村は、法定合併協議会を設置した。1回目の協議会を開催、合併期日などの基本方針を確認した。	
	H20. 6. 23 阿智村長と清内路村長、両村議長が県庁を訪れ、県が策定する合併構想の対象市町村に位置付けるよう村井知事に申し入れた。	
	H20. 6. 26 第4回新しい村づくり会議が阿智村役場で開かれ、新村の将来像を中心に議論した。	